

適応車種 ランドクルーザー 21.08 ~ (JA300W 系)

JAOS REAR SPATS Installation Instructions

Vehicle Application

TOYOTA LAND CRUISER 21.08- (JA300W)

このたびは JAOS リヤスパッツをお買い上げいただきまことにありがとうございます。 本書はリヤスパッツを取り付ける場合の要領と取り扱いについて記載しています。 取り付け前に必ずお読みいただき、正しい取り付けを行ってください。

<作業後は本書を製品の使用者様にお渡ししていただき、使用者様は本書を大切に保管してください。>

取付参考時間 INSTALLATION TIME



約 1.5 時間 1.5-hours

① パーツ交換/取付

Fasv

作業難度 SKILL LEVEL ② 車体加工あり

Moderately Easy

③ 専門知識が必要

Moderately Difficult

4 分解整備

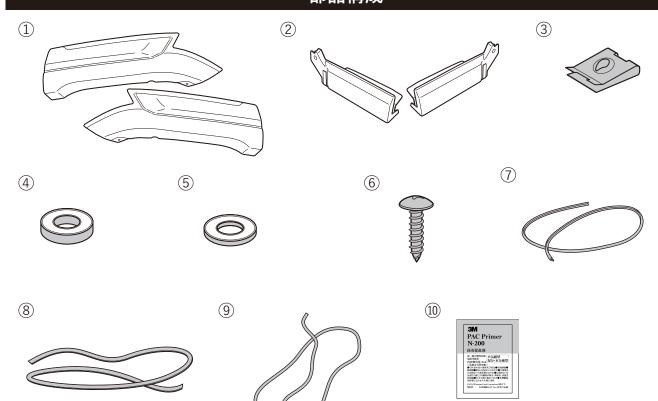
Difficult

必要工具 プラスドライバー

TOOL

六角レンチ ドリル(3mm、7mm) クリップクランプツール ハサミ、マスキングテープ マーカーペン

部品構成



構成部品名称 DESCRIPTION		数量 Q'TY	構成部品名称 DESCRIPTION		数量 Q'TY
1	リヤスパッツ本体 左右 REAR SPATS LH/RH	各1	6	タッピングスクリュー TAPPING SCREW	4
2	ブラケット 左右 ※ JAOS マッドガードと同時装着時は使用しません。 BRACKET LH/RH	各1	7	エンドモール(L 字) END MOLDING	1
3	スピードナット SPEED NUT	4	8	エンドモール(イ字) END MOLDING	1
4	ゴムワッシャー A (3mm) RUBBER WASHER A	2	9	パッドモール PAD MOLDING	1
(5)	ゴムワッシャー B (1.5mm) RUBBER WASHER B	4	10	PAC プライマー PAC PRIMER	1

未塗装品の塗装について

- 1. 塗装面の汚れ、ゴミ、ホコリをウエスで取り除き、必ず脱脂を行う。
- 2. サンディング処理・プライマー塗装を行う。
- 3. 上塗り塗装を行う。
- 4. 乾燥させる。

本製品を塗装する際は乾燥温度を 70°C以下で行ってください。 乾燥温度を70℃以上に上げると製品に変形や割れが発生しますので 十分注意してください。

強制乾燥させる場合は製品が変形しないように固定してください。

リヤスパッツ本体 左右(1)を塗装してください。

取り付け作業を行う前に

- ・オプション装着車の場合、本製品との同時装着はできません。
- ・純正マッドフラップとの同時装着はできません。

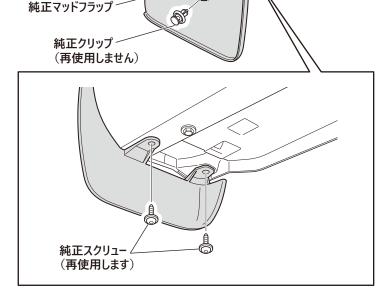
取り付け要領

1. リヤスパッツの取り付け

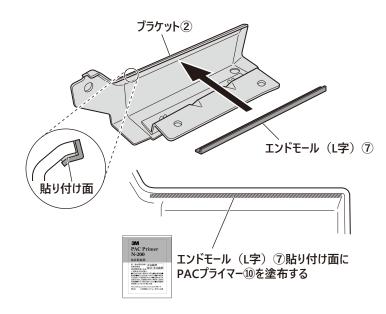
LH図示 |※RHも同様

車両から純正マッドフラップを取り外します。

図アドバイス 取り外した純正スクリューは再使用します ので、紛失しないように保管してください。 純正スクリュー (再使用します)



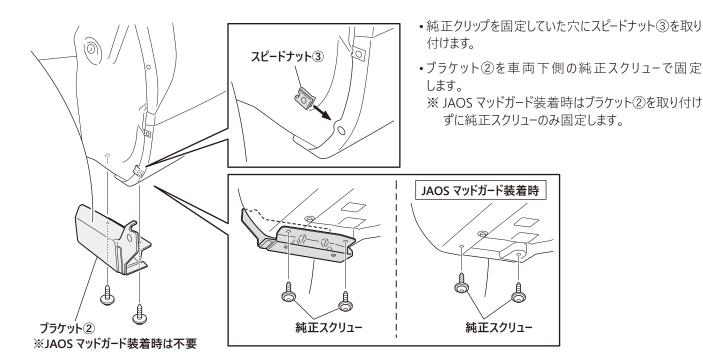
JAOS マッドガードを同時装着する場合ブラケット②は使用しません

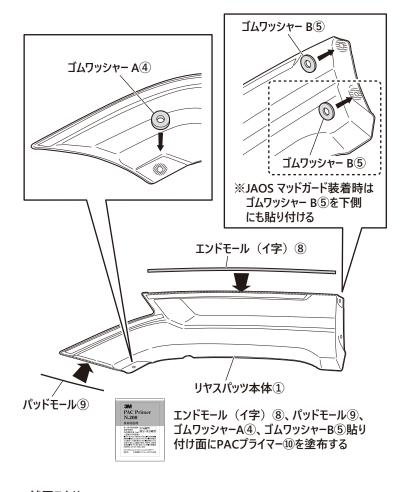


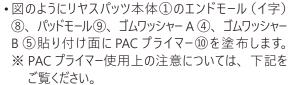
- 図のようにブラケット②のエンドモール(L字) ⑦貼り付け面に PAC プライマー⑩を塗布します。
- ※ PAC プライマー使用上の注意については、下記をご覧ください。
- •図を参照し、エンドモール (L字) ⑦を貼り付けます。

注意 PAC プライマーはあとの作業でも使用するため、捨てずに保管してください。

両面テープ接着力促進剤使用時の注意 3M PAC Primer N-200 (3M/PAC プライマー N200) □袋から不織布を取り出して、取り付 ないでは、 のでは、 のでは け面へ均一に塗布してください。 □不織布が乾くまでに作業を行ってくだ さい。(揮発性が高いので、使用しな い場合は速やかに袋に戻して、揮発 するのを抑えてください) □プライマーの効力を発揮させるため、 塗布後は常温で10分間程度乾燥さ せてください。 □プライマーは塗装面を黄変させるので 必ず塗装面をマスキングして、はみ出 したプライマーは早めにアルコールなど で完全に拭き取ってください。







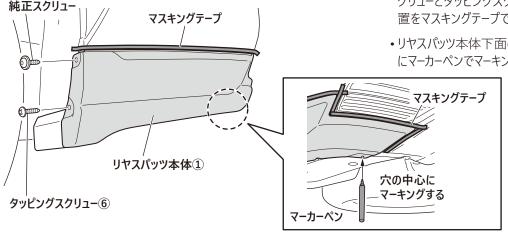
• 図を参照し、エンドモール(イ字) ⑧、パッドモール⑨、 ゴムワッシャー A ④、ゴムワッシャー B ⑤を貼り付けます。

注意 PAC プライマーはあとの作業でも使用するため、捨てずに保管してください。



両面テープ接着力促進剤使用時の注意 (3M/PAC プライマー N200)

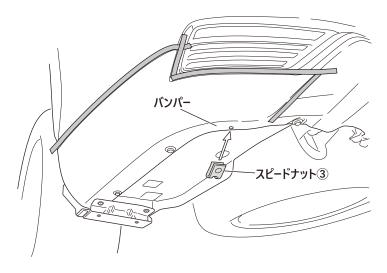
- □袋から不織布を取り出して、取り付け面へ均一に塗布してください。
- □不織布が乾くまでに作業を行ってくだ さい。(揮発性が高いので、使用しな い場合は速やかに袋に戻して、揮発 するのを抑えてください)
- □プライマーの効力を発揮させるため、 塗布後は常温で10分間程度乾燥さ せてください。
- □プライマーは塗装面を黄変させるので 必ず塗装面をマスキングして、はみ出 したプライマーは早めにアルコールなど で完全に拭き取ってください。
- ・リヤスパッツ本体①を車両のラインに合わせ、純正スクリューとタッピングスクリュー⑥で仮組し、取り付け位置をマスキングテープで図のようにマーキングします。
- リヤスパッツ本体下面の、穴の位置に合わせてバンパー にマーカーペンでマーキングします。



マーキングした穴位置にØ3のドリルで下穴をあけ、最後にØ7のドリルで本穴をあけます。バンパーの内側のカバーも穴をあけます。
 注意 穴あけ加工は周囲を損傷しないよう十分に注意をしながら行ってください。
 ・穴のふちにできたバリを丸やすりで取り除きます。

7 3mm 7mm

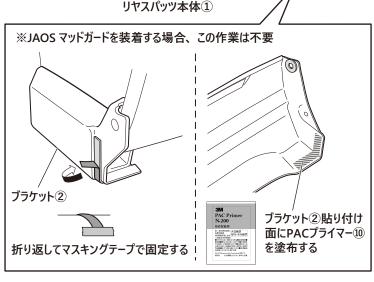
•加工した穴にスピードナット③を取り付けます。



・リヤスパッツ本体①の接着面(斜線部)を脱脂 / 洗浄し、同じ箇所に PAC プライマー⑩を塗布します。 ※ PAC プライマー使用上の注意については、下記をご覧ください。



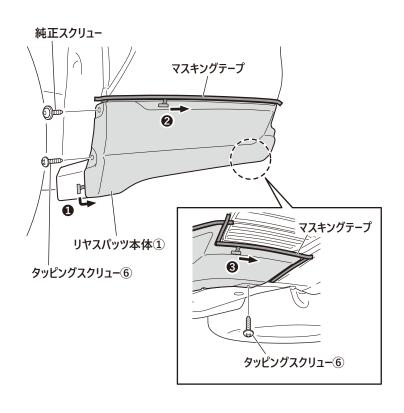
表に折り返してマスキングテープで固定する



- ・リヤスパッツ本体①の離型フィルムを一部はがし、表面に折り返してマスキングテープなどで貼り付けます。
- リヤスパッツ本体①のブラケット②の接着面(斜線部)を脱脂/洗浄し、同じ箇所にPACプライマー⑩を塗布します。
 - ※ PAC プライマー使用上の注意については、下記を ご覧ください。
- ブラケット②の離型フィルムを一部はがし、折り返してマスキングテープなどで貼り付けます。



- 両面テープ接着力促進剤使用時の注意 (3M/PAC プライマー N200)
- □袋から不織布を取り出して、取り付け面へ均一に塗布してください。
- □不織布が乾くまでに作業を行ってください。 (揮発性が高いので、使用しない場合は速やかに袋に戻して、揮発するのを抑えてください)
- □プライマーの効力を発揮させるため、 塗布後は常温で10分間程度乾燥させてください。
- □プライマーは塗装面を黄変させるので 必ず塗装面をマスキングして、はみ出 したプライマーは早めにアルコールなど で完全に拭き取ってください。



- リヤスパッツ本体①を車両にあてがい、タッピングスクリュー⑥、純正スクリューを仮固定します。
- ・上下左右のバランス、隙、穴位置などのズレがない ことを確認し、折り返した両面テープの離型フィルムを 図の順に引抜きながら圧着します(①~③)。
- 全てのマスキングテープを剥がします。
- 仮締め箇所を本締めします。

● アドバイス 両面テープは気温が 15°C以下になると接着力が低下します。気温が低い場合は、作業前に両面テープ及び被接触面をドライヤー等であたためてから作業を行ってください。

図アドバイス 両面テープの圧着は 49N・m (5kgf/cm²) 以上で行ってください。

取り付け完了後、3時間程度は強い力をかけたり水に濡れない様に注意してください。両面テープのはがれや取り付け部分に隙間が発生する可能性があります。

装着状態の確認

(上) 注意 装着後には必ず取り付け確認を行ってください。 ボルト類の締め付け忘れなどにより本体が脱落する恐れがあり大変危険です。

- ・すべての組み付けが完了したらリヤスパッツを揺さぶり、異音がしないことを確認します。
- ・各ボルトの締め付け部をもう一度締め付け、増し締めされていることを確認します。